

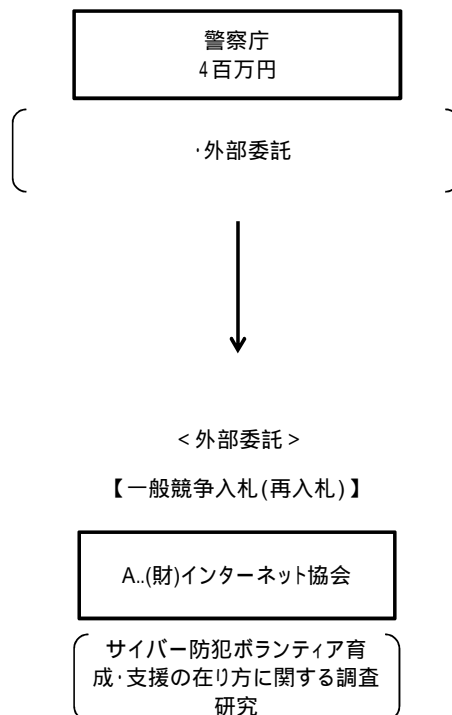
平成25年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	サイバー防犯ボランティア育成・支援の在り方に関する調査研究		担当部局庁	生活安全局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	情報技術犯罪対策課		情報技術犯罪対策課長 緒方 禎己			
会計区分	一般会計		政策・施策名	安心できるIT社会の実現 1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	情報技術の高度化・普及に伴い、インターネットは国民生活の中へ急激に浸透しているが、法令、モラル等の社会規範を守ろうとする意識が十分に働いているとは言えない状況にあることから、サイバー空間における規範意識を向上させるために、自主的な防犯活動に取り組むサイバー防犯ボランティアの育成・支援を効果的かつ効率的に推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	サイバー防犯ボランティア活動における問題点や課題を整理し、効果的かつ効果的にサイバー防犯ボランティアを育成・支援するため、サイバー防犯ボランティアに期待される役割のうち、 教育活動 広報啓発活動 サイバー空間の浄化活動 悪質な利用者への指導・注意 について、実際にサイバー防犯ボランティアとして活動する諸団体等へのヒアリング等により活動の実態調査を行うとともに、活動マニュアルと育成カリキュラムのモデル案を策定する。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算			4				
		補正予算			0				
		繰越し等			0				
	計				4				
	執行額				4				
執行率(%)				100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	サイバー防犯ボランティアの活動の重要性を国民に訴え、結成を促進し、官民連携により育成する気運を醸成することでサイバー空間の規範意識を高める。			成果実績	件	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	サイバー防犯ボランティア育成・支援の在り方に関する調査研究を取りまとめた報告書の提出(サイバーボランティアの活動マニュアル、育成カリキュラムを含む)			活動実績 (当初見込み)	種類	-	-	1	-
						(-)	(1)	(-)	
単位当たりコスト	4,095千円 / 年(業務委託費)			算出根拠	年間執行額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	計								

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			自主的に防犯活動に取り組むサイバー防犯ボランティアの育成・支援を、効果的かつ効率的に推進することにより、安全・安心なサイバー空間の確保に資することができる事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			一般競争入札を実施することにより、競争性の確保に努めていたところであるが、応募者数が一者であったことから、今後同種の事業を実施する際には、仕様等の見直しを図る。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			現にサイバー防犯ボランティアとして活動している団体等への調査研究を行い、問題点の抽出、改善策等を取りまとめ、活動マニュアル、育成マニュアルのモデルを作成することにより、サイバー防犯ボランティアの育成・支援に資することができる。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が成果物納入時に検査を行い、執行状況等を確認している。					
	2 見直しの余地 本事業は、単年度の調査・研究事業であり、今後成果物を活用した新たな事業を推進していく必要がある。					
外部有識者の所見						
今後同様の事業を実施する場合には、競争性・透明性の向上を図り、経費の効率化に努めること。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	今後、同様の要求を行う場合には、仕様や調達方法の見直しを行い、競争性の確保に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	今後同様の事業を実施する場合には仕様の見直しや契約方式の検討を行い、競争性の確保に努める。(平成26年度要求なし)					
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	新24-7	平成24年	新24-7

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(財)インターネット協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	人件費他	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

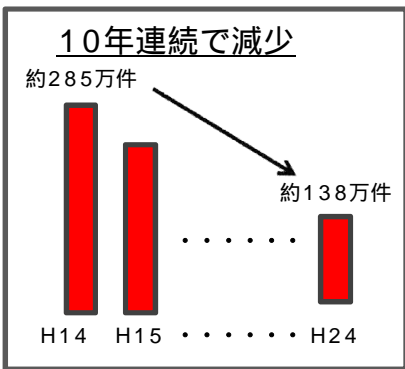
支出先上位10者リスト

A.

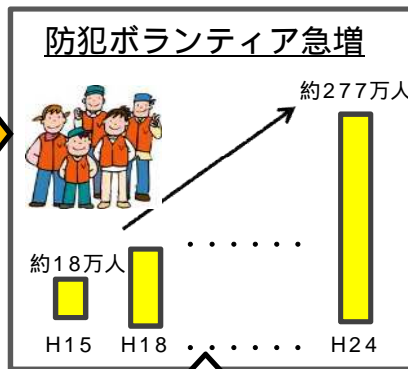
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)インターネット協会	サイバー犯罪ボランティア育成・支援の在り方に関する調査研究	4	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

サイバー防犯ボランティア育成・支援の推進

刑法犯認知件数の推移

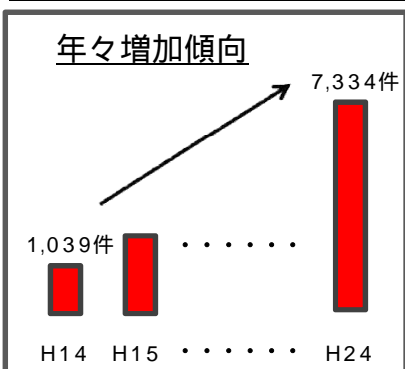


背景



防犯ボランティアによる自主的な防犯活動の促進

サイバー犯罪の検挙推移



背景

サイバー空間における防犯ボランティア
育成低調

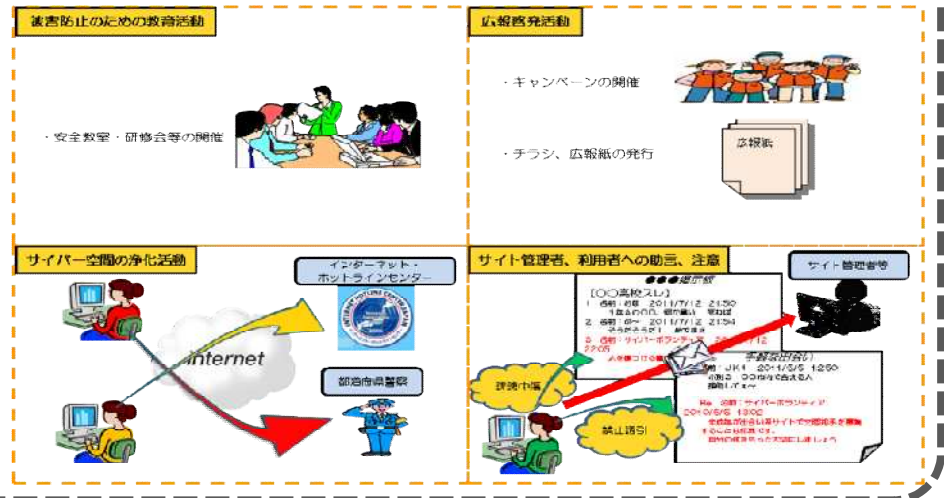
サイバー防犯ボランティアの育成の必要性

～平成22年度総合セキュリティ対策会議報告書～

問題の所在

サイバー空間が有する匿名性等の理由から、
違法・有害情報の氾濫
無責任な中傷等の書き込みを安易に敢行
その背景には、
サイバー空間における規範意識の低下

サイバー防犯ボランティアに期待される役割



育成・支援上の課題

地域住民に係る防犯ボランティア活動への意識調査 では、
・参加意欲 ぜひ参加、機会があれば参加 63.0%
(会社員等 64.1% 自営業等 70.0% 主婦 62.8%)
・どうすれば参加しやすいか **活動の具体的ノウハウ** 53.4%
防犯ボランティア団体の代表者へのアンケート では、
・継続・発展への課題 **活動のマンネリ化** 35.5%
・マンネリ化等への必要な支援 **新たな活動ノウハウ** 34.9%
「地域安全安心ステーション」推進事業に関する意識調査2010

実施した施策と今後の推進内容

サイバー防犯ボランティア育成・支援の在り方に関する調査研究（平成24年度）
サイバー防犯ボランティア活動の試行実施を通じて、実践的な調査研究を進め、課題や改善点、活動上の具体的留意事項、関係機関・団体との連携・支援が望まれる事項等を抽出・整理
「活動マニュアル」、「育成カリキュラム」の作成
・個別の活動に応じた具体的な活動要領 ・活動上の安全・安心を確保するための方策

サイバー防犯ボランティアの育成・支援（平成25年度以降）
・新たなボランティア活動層へのアプローチ
・既存の防犯ボランティア団体の活動領域の拡大